

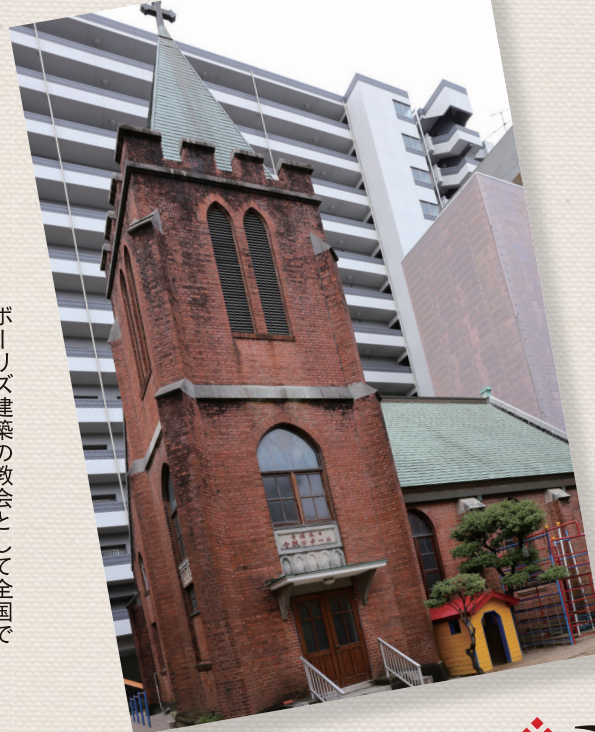
県内初の国登録有形文化財に

❖ 日本福音ルーテル久留米教会

3月18日、国の文化審議会が日吉町の日本福音ルーテル久留米教会の礼拝堂と煉瓦塀を、国の有形文化財へ登録するよう答申しました。教会の国有形文化財への登録は県内初です。

同教会は、アメリカ人技師ウィリアム・メルル・ボリスが設計。大正7（1918）年に完成しましたが、100年以上たつ今でも状態はとても良好。久留米大空襲も免れ、市街地で戦前からある数少ない建築物の一つです。

ボリス建築の教会として全国で2番目に古く、九州では最古です



❖ ごみ拾いを競技仕立てに「スポGOMI」大会

3月16日、百年公園周辺で「スポGOMI」大会in「くも」が開かれ、42チーム166人が参加しました。制限時間内に決められたエリアで拾ったごみの種類や量を競つ、久留米では初のイベント。筑紫野市から家族で参加した田邊佑来さん（小学4年）は、「ごみを探すのに動き回り疲れました。でも達成感があつて楽しかった」と笑顔で振り返りました。



競技の後、拾ったごみを計量。ドキドキしながら見守りました

❖ 消化の仕組みを体験もぐもぐ探検隊

県青少年科学館で、消化について学ぶ特別展「もぐもぐ探検隊」を開催中です。子どもたちは、自分が食べ物になったつもりで食道の滑り台や、小腸の迷路などを探検。出口のお尻を目指します。

古賀悠馬さん（鳥栖市）は、「長い迷路が楽しかったです。段ボールで作られているのも面白い」と話していました。5月6日休まで開催されます。



大きな口を通して探検へ出発。遊具はどれも強化段ボールで作られています

大輪の花が4万人を魅了

❖ 久留米つばきフェア

3月9日から17日まで、草野町一帯と石橋文化センターで「久留米つばきフェア」が開催され、約4万人が訪れました。

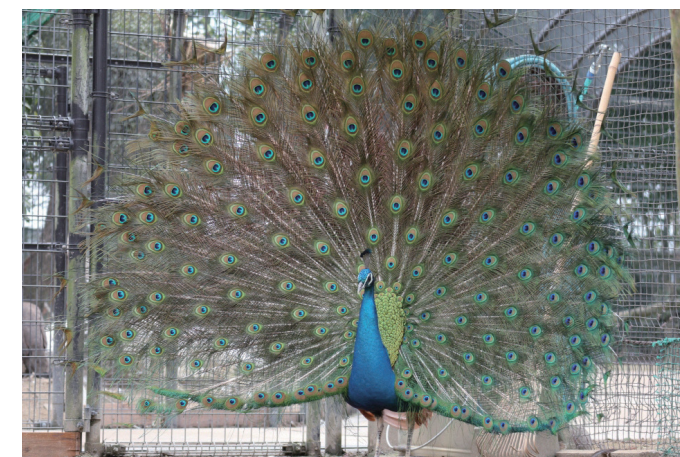
久留米つばき園は、シンボルツリーの「正義」が大きな花を咲かせ、多くの人でにぎわいました。田川智子さん（三潴町）は、「去年より開花が早く、初日に来たかひがありました」と話しました。



シンボルツリーの撮影を楽しむ来園者

市政の動き

「クジャクのまち」から生中継 鳥類センターがカメラ設置



繁殖期の春から夏まで求愛のために羽を広げる雄の姿が見られます

鳥類センターは、インドクジャクの展示スペースの動画ライブ配信を始めました。28羽が餌を食べたり羽を広げたりする姿を、同センターホームページでも見ることが出来ます。

同センターは、全国でも珍しい鳥類専門の動物園です。昭和29（1954）年にクジャクの繁殖を始め、38（1963）年に1000羽の繁殖に成功。今までに約3000羽が国内外に旅立ち、かつて久留米は「ク

ジャクのまち」として名をはせました。

その歴史を知らない人にも、同センターやクジャクに興味を持ってもらうきっかけになればと思い、ライブカメラを置きました。

動画を見る時は、インターネットで、「鳥類センターライブカメラ」と検索してください。

都市公園管理センターホームページ「クジャクのライブカメラ」へのQRコード



飲み物を買って オリンピックを応援

市内の公園を管理する都市公園管理センターは、公園11カ所に飲料水の自動販売機を設置しました。熱中症対策や公園の利便性向上が目的です。

そのうち、中央公園、両替町公園、東町公園の3カ所にオリンピック支援自販機を設置。売り上げの一部を日本オリンピック委員会に寄付し、東京五輪を目指すアスリートの支援などに活用されます。

◎公園緑化推進課（☎0942・30・9085、FAX0942・30・9707）



オリンピック競技のデザインが目印

混雑解消へ 鍾水バイパス開通



雨が降る中、記念式典でくす玉を割る参加者

新たに整備されたのは、高良内町の鍾水地区を通る640mの区間。開通により、課題となっていた交通混雑の解消や歩行者の安全性、利便性の向上などが期待できます。式典の後、地元住民など約150人が通り初めを行いました。

◎道路ネットワーク推進課（☎0942・30・9093、FAX0942・30・9714）